

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	国際問題に対して、SDGs や ESG に基づいた商社としての解決策を講じる
調査日	2021年10月29日(金)15:00~17:30
調査先	日鉄物産株式会社
担当教員身分・氏名	教授 油谷博司
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生4名 2年生11名
調査趣旨・目的	SDGs と ESG の概要についてご説明を頂き、これらに基づいて商社の立場からどのようにビジネスにつなげることができるか、グループワークを通して考察する。
調査結果	<p>人事部のマティアス氏により進行及びプレゼンテーションが行われた。日鉄物産はグローバルに事業を展開されている企業であることから、訪問中の使用言語はすべて英語であった。</p> <p>本訪問は主に3部で構成されており、まずマティアス氏より SDGs への理解の再確認と ESG についてご説明いただいた。ESG とは環境や社会、政府の3つの観点から国際問題への解決に貢献するものであり、さらに投資の長期的な持続性を評価するために用いられる。また ESG と SDGs との関連性についてもお話しいただいた。次に事前勉強会で学んだ、商社とは具体的に何かについて復習を行った。最後に、グループワークを行い、発表とご講評をいただいた。議題は焼き肉店を開業するうえで考えられる問題を取り上げ、それらを ESG に分類した後、商社の強みを用いてどのように解決するのか、またその解決策は SDGs のどの項目への貢献に当てはまるのかを講じるものであった。</p> <p>今回は代表者のみ対面、その他の学生はオンラインでの参加となった。また、残念ながら質疑応答は時間の関係で行えなかったが、学生はグループワークを通して SDGs と ESG の関係性について、またそれらをビジネスにどう活かすことができるのか、具体的に理解できたと考えられる。</p>

マティアス氏によるプレゼンテーションの様子 代表者のみ対面参加(他の学生はオンライン参加)



訪問終了後の集合写真

